

みぬま見聞館だより No.59

令和3年3月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

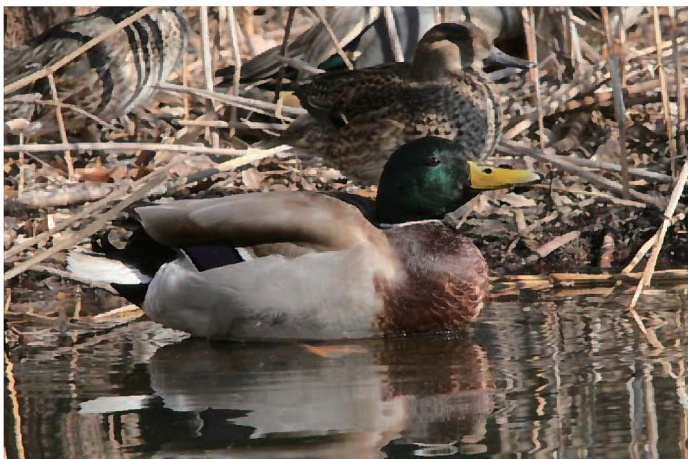
写真は「キセキレイ」です。水の有る場所が好きで、水を干した池の水たまりに朝、氷が張ると毎日現れその上を小走りに走り回っていました。

今年は、カモの訪れる時期がとても遅かったですが、数も少なかったように思います。その他の冬鳥もあまり目にするがありませんでした。いつも見かけるアオジにも会うことができませんでした。



キセキレイ

マガモの番が合併記念見沼公園で冬越し中



①マガモのオス



②マガモのメス

今年、合併記念見沼公園の池で、マガモの番が冬の間生活していました。

マガモは、主に冬鳥として全国の湖沼、池、河川、海上などに生息します。

本州中部以北、北海道では、繁殖するものもいるそうですが、主に春秋に通過します。

マガモを人工的に飼育・改良したものがアヒルです。

オスの顔の色は、光で緑や紺に綺麗に光って見えます。メスを正面から見ると、くちばしが横に広がっています。

よく見ると、オスもメスも愛嬌のある顔をしています。日中はアシの間で休んで、夕方になると水田や浅い水辺に飛び立ち、地面や水面で草の実や水草などを食べます。



オオバンが芝川にいっぱい



クイナ科の鳥で、主に本州中部以北で繁殖し、冬は暖地に移動するそうです。毎年、冬になると姿を現し、潜水して水草などを採ったり土手の雑草をついばんでいます。



埼玉県さいたまけんのレッドデータブックでランクがNT1（準絶滅危惧種）になっています。毎年、現れる数が増えており、この冬は、最大で70羽位の集団を確認しました。彩湖（戸田市）、芝川第一調節池（さいたま市）等では繁殖が確認されているそうです。全身真っ黒で、くちばしが白く、よく見ると目が真っ赤です。

オオタカが芝川の土手で鳥を捕食していました



タカ科の鳥で、留鳥として北海道、本州、四国、九州に分布しており、平地から山地の林や農耕地、河川敷などに生息しています。かつては、低地帯では冬季でも生息数が少なかったが、現在は低地帯の社寺林や屋敷林などで営巣するものが増えています。

埼玉県のレッドデータブックでランクがVU（絶滅危惧Ⅱ類）になっています。食物連鎖の頂点に位置することから、生態系保全の指標として保護対策が推進されています。（オオタカが多く生息することは、生態系が豊かである証になるため。）

写真は、芝川の調査中対岸で見つけた光景で、鳥の羽根をむしってから食べるそうで、大きな鳥の黒い羽根があたりに散乱していました。オオタカのいる土手を登ってみると、食事を終えたオオタカが警戒してこちらを凝視していました。そばに黄色い足があり、おそらくバンを襲ったものと思われます。大宮南部浄化センターの自然庭園では、よくキジバトが捕食されています。自然の厳しさを目の当たりにした瞬間でした。

フィールドサイン



写真①



写真②



写真③

秋から冬にかけて外来種駆除のため、2年ぶりに奥の池のかいぼりを行いました。水の引いた土の部分には様々な生き物達の足跡が見つかりました。その時の写真です。それぞれの写真の生き物は何でしょうか？皆さんも考えてみてください。

* 答えは最後のページにあります。

アレチウリが芝川の土手に



ウリ科の植物で、特定外来生物に指定されています。つる性の植物で他の植物を覆いつくしてしまいます。花が咲くまでは、素手で除草ができますが、実がなってからうっかり素手で触ると手にガラスの針のようなとげが突き刺さります。冬になると枯れてしましますが、春になるとまたあたりを覆いつくします。



特定外来生物：指定されると生きたまま移動したり、飼育したり、栽培することができなくなります。

団体見学がありました

11月10日(火曜日)芝川小学校2年生が、生活科『町の施設』の学習でみぬま見聞館を訪れました。新型コロナウイルス感染症対策として館内を貸し切りにし、3クラスをそれぞれ半分に分け、6か所(いとなみゾーン、ささえゾーン、研修室、工場、広場①②)で様々な見学及び体験を行いました。なお、見学の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。



研修室



ささえゾーン



庭園 散策



広場 虫探し

幼稚園・保育園・小学校で出前講座を行いました

皆さまのところへ職員が伺い、生き物とのふれあい体験など、自然に親しんでもらう出前講座を開講しています。写真は白鍬保育園(11月5日)、東仲町保育園(11月12日)、たんぽぽキッズ、美園北小学校で出前講座を行った時の写真です。なお、講座の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。



白鍬保育園



東仲町保育園



美園北小学校



フィールドサインの答え

写真①：指が4本で⇒タヌキです。

写真②：指が5本で⇒アライグマです。

写真③：カメだとおもっていたら⇒ドブネズミでした。

足跡を探してみると意外な動物が住んでいるかもしれません。皆さんも探してみましよう。

お知らせ

4月25日(日曜日)「春の自然観察・環境学習会」が行われます。

状況に応じて中止や縮小などの場合もありますので、くわしくは市のホームページでご確認ください。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

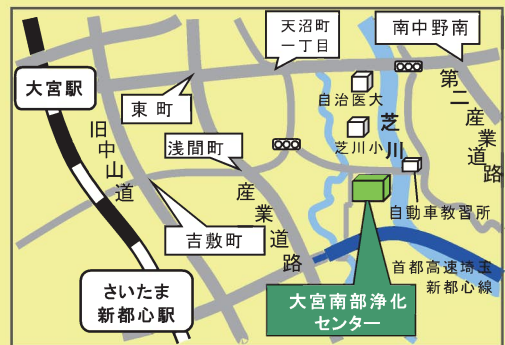
開館時間 9:00~17:00 入館料 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1

電話番号 048-646-6030 F A X 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。



発行 さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター(みぬま見聞館)

この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています 印刷部数 6,400部 単価 10.8

